

オンライン

令和3年度 地域公共交通活性化シンポジウム in 関西

令和4年

2月25日(金)

13:30▶▶16:30

近畿運輸局公式YouTube
Live配信!

持続可能な地域公共交通

～モビリティを考え共感できる人材こそがカギ～

公共交通は、地域の暮らしや産業を支える社会基盤として必要不可欠である一方、少子高齢化等の進展による利用者減少に加えて、新型コロナウイルスの影響を受け、さらに危機的な状況にあります。

本シンポジウムでは、昨年5月に閣議決定された「第2次交通政策基本計画」のポイントの他、行政コストの考え方、自治体・事業者間連携の先事例等をご紹介します。「持続可能な地域公共交通」に向けたカギを皆様と共に考えます。

プログラム

13:30 開会挨拶 国土交通省 近畿運輸局長 金井 昭彦

13:35 制度説明
「第2次交通政策基本計画について」
国土交通省 総合政策局 交通政策課 企画室長 赤星 健太郎

13:55 講演
「クロスセクター効果
～公共交通における評価指標の重要性～」
一般社団法人 グローカル交流推進機構 理事長 土井 勉 氏

14:45 休憩

14:55 事例紹介①
「橋本市の地域公共交通再編に向けた取り組み
～はしもと ONE TEAM 競合から協働へ～」
橋本市生活交通ネットワーク協議会
橋本市 総合政策部 政策企画課 地域振興係 副主査 乾 沙也香 氏

15:25 事例紹介②
「NPO法人再生塾における
交通まちづくりを担う実務者育成」
特定非営利活動法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾 理事長 正司 健一 氏

15:55 質疑応答
オンラインで
質問を受付
進行役：土井 勉 氏 (グローカル交流推進機構)
回答者：乾 沙也香 氏 (橋本市)
正司 健一 氏 (再生塾)

16:30 閉会

会場

オンライン (YouTubeによる配信) 開催

「近畿運輸局公式YouTubeチャンネル」でLive配信を行います。
また、開催から10日後を目処に、同チャンネルで一般公開予定です。

近畿運輸局YouTube
チャンネルはこちらから
→→



当日の質問はこちら

オンラインで参加者の皆様から
質問を受け付けます！
(皆様からの質問に「いいね」を
押すことができ、ランキング表示)

Slido.com
#kinki2022
質問の投稿 (Slido)
はこちらから →→



問合せ

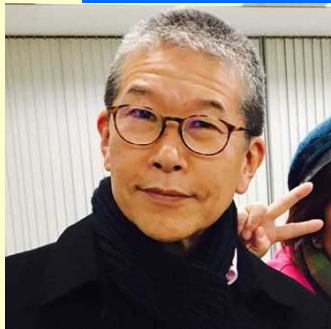
近畿運輸局 交通政策部 交通企画課
(担当：田中、伊藤、木村)
TEL：06-6949-6409
FAX：06-6949-6169



※記載の時刻は、目安であるため多少前後することがあります。

講演者プロフィール

土井 勉 (どい つとむ) 氏



一般社団法人グローバル交流推進機構 理事長

1950年京都市生まれ。名古屋大学大学院工学研究科修了。1976年京都市役所、阪急電鉄を経て神戸国際大学経済学部教授、京都大学大学院工学系研究科・医学研究科安寧の都市ユニット特定教授、大阪大学COデザインセンター特任教授などを経て現職。博士（工学）、技術士（建設部門）。国土交通省：交通政策審議会地域公共交通部会臨時委員や自治体の委員など多数。

主な活動テーマは、「総合交通政策とまちづくり」。主な論文など、日本経済新聞やさしい経済学「人口減少時代の公共交通」8回連載、2018.6等。

乾 沙也香 (いぬい さやか) 氏



橋本市生活交通ネットワーク協議会

橋本市 総合政策部 政策企画課 地域振興係 副主査

和歌山県橋本市生まれ。2017年橋本市役所に入庁。同年に設置された消費生活センターにおいて消費生活相談や啓発事業に従事したのち、2021年4月に政策企画課へ配属。

現在、橋本市生活交通ネットワーク協議会の事務局として、市内交通事業者と連携しながら「地域公共交通計画」の策定に取り組む。

正司 健一 (しょうじ けんいち) 氏



特定非営利活動法人

持続可能なまちと交通をめざす再生塾 理事長

神戸市生まれ。神戸大学で学部、博士前期課程と学び、1979年4月神戸大学経営学部教員。以来、2020年3月に定年退職するまで41年間勤務。この間、日本交通学会会長も務める（2015-17）。都市公共交通の運営、交通政策、鉄道事業者の経営戦略に詳しく、鉄道・道路・空港・電気通信などのネットワーク・インフラ、交通まちづくりの他、行財政改革の議論にも参画。自治体・国の公共交通政策やインフラ整備等の委員及び委員長を務める。現在、NPO法人再生塾理事長（2012～）及び、関西鉄道協会都市交通研究所所長（2019～）。

主な著書に『都市公共交通政策：民間供給と公的規制』『ポスト・モータリゼーション：21世紀の都市と交通戦略』。国際交通安全学会賞（2002）、日本交通学会賞（2002.2011）、交通文化賞（2020）など受賞。